

藤岡地区地域づくり協議会（モデル事業）

藤岡地区の魅力と課題を見つめ直し、「人と人のつながり」をつくるための取組みを考える
「こんな地区にしたい」「こんなまちに暮らしたい」という将来像をイメージする

◆第1回から第3回までの振り返り

<第1回の意見交換の意見>

- ・第一小と第二小校区に分かれているので、コミュニティを一体で考えるのが難しいこともあるのでは…。
- ・ヨソ者に冷たくて商売がやりづらいということと言われることがある
- ・プライバシーのことも考えると委員としてどこまで個人情報を得ていいのか迷う



- ・子どもから高齢者まで地域づくりセンターを使ってほしい
- ・高齢者を孤立させないことが大切
- ・テーマを絞りながらまとめていきたい
 - ・消防団の入団希望者が少ない。コミュニティをつくって増やしたい。
 - ・地域支え合い協議体やコミュニティスクールとの連携が重要だし楽しみ



<第2回のグループワーク意見>

地域の課題

- ・若い人が活躍できる場が少ない
- ・新しい人の参画が極めて少ない
- ・交流の場がない、必要性を感じていない
- ・各団体をつなげるコーディネーターがない
- ・コミュニケーション不足である

理想の将来像

- ・集まれる場所をあちこちにつくる
- ・若い世代が楽しく職業選択できる
- ・多世代の語らいの場ができる
- ・若い世代の意見を取り入れる環境
- ・幅広い年齢層で地域イベントに参加する
- ・若い人を中心にフリマを開催する
- ・通しやすい事故の少ない道

解決のための具体策

- ・全世代が楽しめるイベントの開催
- ・元教員等のボランティアによる学習アシスト
- ・職業体験フェスの開催
- ・道幅を広くし死角が少ない安全な道をつくる
- ・藤岡の産学が知れる場を設ける
- ・あいさつ運動により地域の人を知る
- ・子どもが興味を持つイベントの開催
- ・マスコットキャラクターに力を入れる
- ・映えスポットを設ける



<第3回のグループワーク意見>

多世代を巻き込んだ地域づくり、「〇〇な藤岡」と呼ばれるような特有の魅力、自然と人が集まる場所をつくり自然と交流

交流の場	気軽に立ち寄れるフリースペースの設置（見晴らしの良いみかほみらい館や地域づくりセンターに、お茶を飲んだり、子育て世代の人が遊んだり、趣味・娯楽を楽しめる場所）
高齢者への支援・健康維持	買い物支援、声掛けなどみんなで見守る体制づくり、孤立を防ぐための筋トレ・カフェ・娯楽・散歩・歴史問題・クイズ、ボランティア育成
子どもの居場所	大学生や元教員による子どもの居場所づくり、自然の中での遊び、学習×運動×遊び、学童ではない公的な支援策
安心・安全、快適な暮らし	防犯パトロールを気軽に実施、街灯や防犯カメラの設置、危険箇所を調べる、交通マナーを守る、防災訓練、5つのゼロ宣言の周知、渋滞緩和のための道路整備、ゴミの出し方について考える
学びと職	人が集まる産業イベント、職業体験フェス、興味のある仕事に関するアンケート、高山社で行ったものづくりのイベント、市内企業のマップ作成、空き店舗の活用（高校生による出店、欲しい店アンケート、空き店舗マップの作成）、出前サロン、地区花壇や庭で週替わりの井戸端会議
地域活性化・名所の活用	映画の撮影誘致、食・文化・人について若い人に知ってもらい、地域づくりは挨拶・声掛けから、市内名所の市民へのアピール、広報やSNSによる情報発信
イベント	センター発信の地区イベント、キッチンカーやアーティスト誘致でミニフェス、運動会、花火大会、絵本作家による読み聞かせ、お茶会、ランチ会、遊び場マップづくり、藤岡フェスタ、郷土料理を食べられる場所、子育て相談、健康アドバイス、文化展、産業PR、バーベキュー大会、玉入れ大会、球技、パラ競技でみんなで参加、藤岡まつり、スポーツフェスティバルの充実、図書館×カフェ×フリマ、夏・秋に地元の藤岡まつり、コスプレイベント、サウナ活動、カフェ×公園

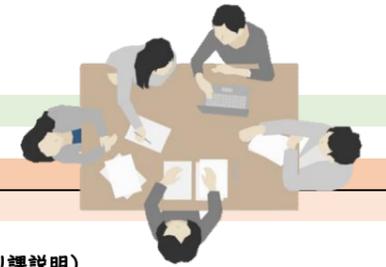
◆第4回の「藤岡地域づくり協議会（モデル事業）」を開催します

令和5年1月17日（火） 18:30～

第4回となる今回の会議はモデル事業の最終回の予定です。

来年度の本格的なスタートに向けて、どのような組織であると活発に円滑に進めることができるか、どういった人が委員であるとよいかなどを話し合います。

地域づくり協議会（モデル事業） 令和4年度の流れ



藤岡地域づくり協議会（委員22人）

第1回	9月27日（火） 19:00～20:30 90分 テーマ 「地域づくり協議会に関する勉強会」「こんな藤岡地区に暮らしたい」 会議内容 ①「地域づくり協議会」及び「地域づくりセンター」について（地域づくり課説明） ②「地域づくり協議会事業に向けて」（熊倉教授解説） ③「こんな藤岡地区に暮らしたい」（委員から発言：懇話会形式） 令和5年度から「公民館」を「地域づくりセンター」に移行し、「地域づくり協議会」を設立することについて説明。委員から地区内での現状や課題、希望等について意見を出し合った。 キーワード 若い人の参画、多世代交流、コミュニティスクール、小学校区が2つ、ヨソ者に冷たい
第2回	11月2日（水） 18:30～20:00 90分 テーマ 地域の魅力や課題にどんなものがあるか考える「取り組むべき課題を探る」 会議内容 ①第1回の振り返り ②グループワーク（6～7人×3）「地域の魅力や課題を探る」 ③グループワーク発表 藤岡地区の中で人と人がつながりをつくっていくためにどんな取り組みが必要か。地区内で考えられる課題、それに対し理想の将来像、そのために必要な取組み（解決策）について意見を出し合う。 付箋（赤-課題、青-理想像、黄-解決策）に考えを書き出し、順番に模造紙に貼っていき意見の共有、グルーピングを行った。 キーワード 連携・見守り、イベント・行事、健康、子育て、交通、若い世代、交流、イベント、集まる場、道、交通、職業
第3回	12月8日（木） 18:30～20:00 90分 テーマ 地域の課題を解決する方法を具体化する。 会議内容 ①第1回、第2回の振り返り ②グループワーク（6～7人×3）「課題解決のためにできることを考える」 ③グループワーク発表 課題解決策を具体的にするためのグループワークを実施。自分が取り組みたいと思う事3つを紙に書き出しその紙を隣の人に回していき、ひとりずつ自分なりの意見を書き込み共有しながら具体化していく。グループ内で取り組みたい内容を相談していつか絞り込みまとめた。 キーワード 全世代、交流の場所、高齢者への支援、子どもの居場所作り、〇〇な藤岡、環境づくり、名所の活用、学びと職、健康、イベント
第4回	1月17日（火） 18:30～ テーマ 「令和5年度に向けた体制づくりを確認しよう」 地域づくり協議会がどんな組織であればよいか考える。 会議内容 ①第1回、第2回、第3回の振り返り ②令和4年度モデル事業のまとめ ③令和5年度からの協議会の組織やメンバー等 令和5年度から本格スタートするにあたり、第1回から第3回までの意見を踏まえて協議会の進め方や体制、人選などについて考える。
備考	

